



私の手話勉強法

私は石狩翔陽高校時代に入ったボランティア局で、手話を本格的に学びました。

当時の勉強方法は、とにかく単語を覚えるというもので、「単語を多く知らないと、伝わらないので。」という思いが強くなりました。だから、新しい単語を覚えてはそれを組み合わせ、同じボランティア局にいた聞こえない友人に見てもらって、を繰り返し行っていました。思えば朝の読書時間も開いていたのは手話の単語辞典でした(笑)。

手話通訳者になつて3年目。意識するのはやはり言葉の意味に合わせた表現です。聞いている方が不快に思わないか、間違いはないか、不利益を被ることはないか、そういうことを常に意識しながら、その場に合わせて表現で、これからも人と人をつなぐお手伝いができればと思います。

■ 障がい福祉課

☎ 72・3194 FAX 75・2270

広告